|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ４　中学校　全学年 | | | | | | |
| 事件に巻き込まれないために | | | | | | |
| 指導する学年 | 全学年 | | 指導場面 | 朝の会  帰りの会 等  常時指導 | 指導する時数 | （10～15分） |
| 本時のねらい | 事件や事故の起こりやすい夕方以降の行動から、危険（犯罪）を予測し、起こりうる危険から身を守る方法等を考える。 | | | | | |
| 使用する資料 | 文部科学省ＤＶＤ「安全な通学を考える～加害者にもならない～」（平成24年３月） | | | | 基本的な指導内容 | |
| ２ 犯罪被害にあわないために | |
| 学習内容・活動 | | | | 指導上の留意点 | | |
| １．ＤＶＤ「安全な通学を考える～加害者にもならない～」の「事件に巻き込まれないために」（１分７秒）を視聴する。  　内　容  ・自分の乗り方は安全か？  ・危険を予測する力をつける！  ・気持ちを意識してみよう！  ・地域の安全を守る役  ・事件に巻き込まれないために  ・自転車の賠償責任、点検・整備等について  ２．ワークシート「事件に巻き込まれないために」に考えたことを書き込む。    ・夕方、夜間の防犯について、自分の生活と比較しながら考える。  ・学校や自宅周辺の危険な場所（入りやすく、見えにくい場所）はないか考える。  **まとめ**  ３．記入したことを発表し、学習したことを振り返り、危険な場面に直面したときにどのように行動すればよいか確認する。 | | | | ○夕方、下校時の自分の行動を振り返らせながら視聴するよう伝える。  ○自分の下校時の行動を振り返らせながら記入するようにさせる。  ○危険を予測する力とその危険から回避する望ましい方法に気付くよう支援する。  ○机間指導により、記入が進まない生徒に対し、適切な支援を行う。  ○日頃の危機管理意識が大切であることに気付かせる。  ○日頃の生活行動で、スキを見せない行動が大切であることも理解させる。 | | |
| 関連する  教科・行事等 | | ※指導に使用するＤＶＤ教材  「安全な通学を考える～加害者にもならない～」（文部科学省）  平成24年３月配布  朝の会、帰りの会、道徳：中学校1-（3）自主、自立、責任 | | | | |